

平成21年12月21日

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 石川 哲夫 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 土浦市立斗利出小学校 担当教諭名 杉山 俊子

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成21年11月25日(水) 8:45 ~ 13:30
対象学年と人数	5年・6年 (33名)
活動の内容	韓国と Bangladesh の国の様子や学校についてのお話 児童からの質問 チヂミとエビカレーの作り方を聞き、調理する。
派遣講師と出身国	ペピョンファ 韓国 留学生 シャMDフォエズ Bangladesh 留学生親善大使
コーディネーター	庄司京子
生徒・保護者等参加者の感想	<ul style="list-style-type: none">・私たちは国際理解教室の前に、韓国と Bangladesh のことを本やパソコンで調べたが、実際に話を聞くと、私たちの知らないことがたくさんあるのに驚いた。・ Bangladesh のディッシュは季節が6つあり、夏は45 になると聞いて、私は耐えられないなと思った。物価が安くて、日本だったら2000円位する料理 が75円で食べられると聞いて驚いた。・フォエズさんにエビカレーの作り方を教わった。たくさんのスパイスを入れて辛かったけど、おいしくできた。フォエズさんが、右手で食べるやり方を教えてくれたのでやってみたら、意外に食べやすかった。・韓国には、キムチは100種類以上あること、小学校の3年生から英語を勉強していること、冬休みは夏休みより長いと聞いてびっくりした。・韓国のピョンファさんから、チヂミの作り方を教わった。「ジジミ」が正しい言い方だそうだ。チヂミをひっくり返すのが難しかったが、結構おいしくできた。たくさんあったので、残りを、家に持って帰った。

先生の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・ 二人とも，パワーポイントを使って，短時間でわかりやすく説明してくれた。日本と の物価の違いや食べ物，学校のことなど，要点が絞ってあって良かった。特に ，三択の質問形式でクイズを出してくれたので，児童たちも，最後まで興味を持って聞くことができた。 ・ 国際交流教室で調理するのは初めてなので，調理材料の調達や味（辛すぎないか）など，心配なこともあったが，カレーのスパイスをファシリテーターの方が用意してくださり，とても助かった。講師の方々のおかげで，児童たちは「辛い。」と言いながらも，楽しく調理や試食ができた。
-------	--

